



昨年の総会より

第47回 在京白聖会総会・懇親会開催概要

日 時: 5月9日(土)

講演会 15 時～／総会・懇親会 16 時～
受付開始 14 時 30 分より場 所: 東京ガーデンパレス (03-3813-6211)
(文京区湯島 1-7-5) ※昨年の会場と同じです。参加費: 一般 8,000 円／学生・院生 1,000 円
(但し、社会人・主婦の院生は一般扱い)※会場で在京白聖会平成 27 年度年会費
(2,000 円)を受け付けます。● Web での在京白聖会総会・懇親会への申し込みは
<https://47th-zaikyohakukai.doorkeeper.jp/events/19686>

講演会とヴァイオリン演奏のご案内

講 演: 「復興の今、復興の未来」

講 師: 達増拓也 (たっそたくや／S58 年卒)

昭和 63 年 3 月 東京大学法学部卒業
昭和 63 年 4 月 外務省入省
平成 3 年 3 月 米国ジョーンズ・ホプキンス大
学国際研究高等大学院修了
外務省大臣官房総務課課長補佐等を歴任
平成 8 年 10 月 衆議院議員 (連続 4 期当選)
平成 19 年 4 月 岩手県知事 (現在、2 期目)

ヴァイオリン演奏: 原田智子 (はらたともこ／S58 年卒)

東京藝術大学器楽科卒業。同大学院修士課程
終了。1989～1990 年、国際ロータリー財団奨
学生として Royal College of Music に留学。
在学中最優秀の成績にて A.R.C.M. Honours
を取得。第 3 回日本室内楽コンクール入賞。
1998 年よりオーケストラ・アンサンブル金沢
のヴァイオリン奏者となり、現在に至っている。

会場地図

お願い

同封の振替用紙にて平成 27
年度年会費 2000 円のお
振込をお願いします。お振
込はなるべく、窓口ではな
く ATM をご利用下さい。是非、同級生・先輩・
後輩などお誘いあわせ
のうえ、多くの方にお
越しいただけることを
切に願っております。
(昭和 58 年卒幹事団)第 47 回在京白聖会総会は、5
月 9 日(土)に昨年と同様、御
茶ノ水の東京ガーデンパレスに
て開催いたします。今回の幹事
は昭和 58 年卒が務めさせていた
だきます。さまざまな分野で活躍する一
高生を幅広く取り上げてご紹介
したいと思っています。『あ
の人が一高生!? 同期は知って
いるけど、先輩・後輩は知ら
なかった』という人、意外と
いるんです。そんな同窓生を
みんなで応援するきっかけに
なればと思います。在京白聖会
2015 総会立ち上がれ、白聖の健児
5月9日(土) 東京ガーデンパレスで開催

在京白聖会報

第 38 号

平成 27 年 3 月 14 日

発行

岩手県立盛岡第一高等学校在京同窓会

在京白聖会

事務局長 藤井剛夫

(事務局)

〒143-0015 東京都大田区

大森西 2-17-4-201

TEL. (03) 6404-6379

FAX. 直通 (03) 6404-6379*00

E-mail: hakua_office@pmp-jp.com

(http://www.hakua.org/tokyo/)

題字: 浅沼 一 道



昨年の懇親会風景

イベントでは「聞け、一高
健児 魂の歌(ノナマニサ)
J・Rock」をご披露します。
5 年振り(?)のパフォーマンス
にご期待下さい。総会に先立つ講演会は、今
年も二部構成です。第一部で
は、達増拓也岩手県知事(昭
和 58 年卒)に『復興の今、復
興の未来』というテーマでお
話頂きます。東日本大震災か
ら 5 年目を迎え、震災復興も
実行フェーズはまさにこれか
ら。故郷岩手の向かう方向性
について講演いただきます。
第二部は、ヴァイオリン奏
者として活躍中の原田智子さ
ん(昭和 58 年卒)による演奏
をお届けします。年に一度の在京白聖会総会・
懇親会は、在京だからこそ故
郷を遠く離れた東京で当時を
懐かしみ、岩手・盛岡に思い
を寄せる貴重な機会となるで
しょう。参加された皆
様方に、『来ていが
った』と思っていただ
ける心安らぐ会にしたい
と思っています。

今年度の幹事、58 年卒の皆さん(昨年総会の幹事引継ぎセレモニー)

在京白聖会 内村 泰 会長メッセージ

在京白聖会50周年に向け
白聖同窓のいっそうの結束を！

在京白聖会の会員の皆様には恙なくお過ごしのことと拝察いたしております。今年もよろしく願っています。さて、「光陰矢の如し」と言う言葉にあるように、本会は昭和44年工藤祐正先輩を代表世話人として有志の方々が集い、年次ごとに校歌を歌い



在京白聖会
内村泰会長 (S39卒)

楽しく歓談したのが最初でした。爾来46年が過ぎ、あと4年で50周年の節目を迎えることになります。やはり大きな節目であり、本会を守り育てて頂いた先人たちへ思いを致し、またこれからの時代を担う若い人たちへの激励を込め、在京白聖会「50周年記念実行準備委員会」を立ち上げることを幹事会にお諮りし了解をいただきました。本年はこの準備委員会の中に記念式典、記念講演会、記念誌編集等々の分科会を発足させ検討を行うことを考えております。会員の皆様にも是非お力添えをいただきたくお願い申し上げます。



昨年の「在京白聖レディス会」(2014.6.11)

クラブ活動参加者募集

在京白聖レディス会
7月11日(土) 開催

第11回目「在京白聖レディス会」を、次の通り開催いたします。例年は6月開催でしたが、今年は7月開催となりますので、よろしく願っています。

日時・平成27年7月11日(土)

受付 11:30より

開始 12:00

場所・Sunni(サンニ) 高松7丁目店(昨年と同じ場所です)

中央区銀座7丁目13-20

銀座中村ビル

・電話03-3546-8181

・地下鉄銀座駅・東銀座駅から徒歩5分

会費・¥5,000

ゲスト・未定

詳細は追ってホームページ等で案内いたします。多くの白聖レディスの参加をお待ちしております。(40年卒 戸来ソウ子)

第13回歌の祭り
8月2日(日) 開催

恒例の「歌の祭り」を下記要領で開催いたします。演奏される方、拝聴される方いずれも大



2015年2月15日(日)、26名が参加し「ブルーティ」で開かれた第12回「歌の祭り」

歓迎です。皆様全員で懐かしい歌の斉唱も用意しています。曲のジャンルは問いません。初めて参加の方も振るってご参加ください。

日時・平成27年8月2日(日)

12時~17時

場所・「ブルーティ」渋谷区笹塚1-61-8 ホテルルガル1階に併設 電話03-3375-11474

アクセス・京王線、京王新線の笹塚駅北口※駅前の甲州街道(20号線)沿いに調布方面へ徒歩5分程。

※当日ピアノ伴奏で歌唱される方、楽器の演奏をされる方はお

クラブ活動報告

在京白聖会ゴルフクラブ
優勝は混成チームA

第12回在京白聖会ゴルフ大会は、昨年10月24日(金)、前年度優勝の疾風会(S42年卒)が幹事となり、ザ・ゴルフクラブ竜ヶ崎で開催され、年次対抗戦、個人戦を楽しみました。

40年卒および42年卒が2チームをエントリーした年次対抗戦の結果は鈴木昭久(S20



個人戦優勝の戸田さん(写真右端)と、団体戦優勝の皆さん

平成26年12月8日(月)～13日(土)
会場：文房堂 4階ギャラリー
(神田駿河台下)

2014 白堊芸術祭 第7回

〈出展リスト〉



12月13日 玉澤健児ミニ・ライブ (S43卒)。
佐々伸 (S43卒／右) らも友情参加。

白堊同窓に幅広く呼びかけ 歌唱などイベントなども多彩に

第7回目を迎えた「白堊芸術祭」は、昨年に続き会場を神田駿河台下・文房堂(ぶんぼうどう)4階ギャラリーで開催。在京会員以外の同窓にも出展していただき、大盛況でした。会場で集合し、そのあと同期会や同窓仲間との忘年会というパターンも増えてきました。来場者には、会場が広く、ゆっくりくつろぎながら同窓と交流が図れると好評です。年末恒例の文化祭として、今年も多くの会員のご出展、ご見学をお待ちしております。



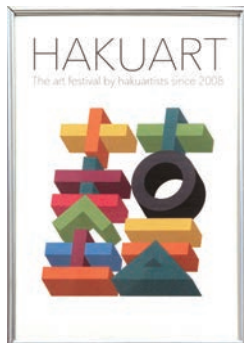
12月11日「歌の祭り」。大内秀之 (S35卒)、阿部克行 (S31卒)、長井ふみ江 (S31卒)、早坂光平 (S31卒)、南館英孝 (S36卒)、山本健人 (S36卒)、毛利洋子 (S41卒)。



12月13日 野口田鶴子 (S40卒／中央)「宮澤賢治と五行歌の朗読」。司会・稲垣裕雄 (S38卒／右)。左は民族楽器ブザルテリ演奏の小木曾綾さん。



▲三浦千波 (S50卒) 〈溪流〉



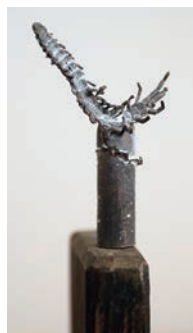
▲水原 滋 (S50卒)
〈hakuart #04〉



▲伊東明子 (S50卒) 〈八幡平〉



▲みや こうせい (S31卒) 〈金羊宮〉



▲伊藤馨一 (S52卒)
〈清しき家・嘆きのザムザ〉



▲村上忠司 (S32卒) 〈幻想の海〉



▲宮野谷篤 (S53卒) 〈秋の中之島〉



▲小坂蓉子 (S38卒) 〈大地〉



▲辻田よね子
(辻やのか・S55卒) 〈しずかな森〉



▲田部井恭子 (S34卒) 〈ブルナの手仕事〉



▲森 豊彦 (S40卒) 〈さんさ踊り(莫産九)〉



▲浅沼榮一 (浅沼一道・S27卒) 〈大獄大安〉



▲佐藤法雄 (佐藤容齋・S50卒) 〈君子之交淡如水〉



▲福田 隆 (S49卒) 〈モネの庭〉



▲村野井徹夫 (S35卒) 〈ネモフィラの丘〉



▲三浦宏行 (S28卒)
〈南禅寺牡丹文丸額〉



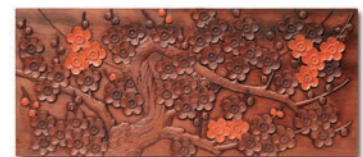
▲吉田昌弘
(S38卒) 〈花 器〉



▲坂本 務 (S44卒)
〈ポーズ〉



▲南館英孝 (S36卒) 〈どれがどの10年?〉



▲千葉祐治 (S41卒) 〈夜の梅〉



▲小野寺長道 (S28卒) 〈雲間の妙高〉



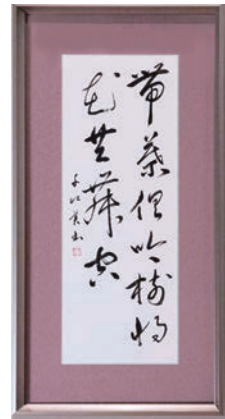
▲藤澤 貢 (S61卒)
〈写日記-2013～2014-〉



▲一戸裕子 (S43卒) 〈薔 薇〉

▲小山卓也 (S32卒)
〈山田船越湾風ぐ一瞬〉▲玉澤健児 (S43卒)
〈パラオのウサギ (シマアジ) と
カメ (ナポレオンフィッシュ)〉

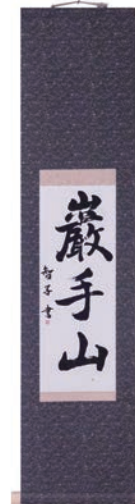
▲毛利洋子 (S41卒) 〈赤い帽子〉

▲武田夏実
(武田素虹・S53卒)
〈石山切伊勢集〉▲三浦千江美 (S53卒)
〈詠 風〉▲戸田忠祐 (S20卒)
〈石に生きる春—遠野羅漢—〉▲及川昭伍 (S25卒)
〈筒描呉須採扁壺〉

▲板倉洋子 (S28卒) 〈滝沢から見た岩手山〉



▲橋本時浩 (S53卒) 〈白 馬〉

▲池上敦子 (S50卒)
〈吹 雪〉▲国分智子 (S32卒)
〈巖手山〉

▲伊藤公雄 (S34卒) 〈帽子の女〉



▲及川宣幸 (S42卒) 〈汝が永遠の岸边〉



▲ 柏木宣郎 (S36卒)
〈晩秋：横浜・日本大通り〉



▲ 畠順一郎 (S41卒)
〈松本城 白鳥の昼〉



▲ 細川久昭 (S31卒)
〈細川久昭写真集 - 小さな窓から〉



▲ 藤原則子 (S51卒) 〈グドベキア〉



▲ 坂上洋子 (綾華・S40卒)
〈シャクナゲ群生〉



▲ 紀章 (S56卒)
〈Propeller Powers〉



◀ 坂本美枝子 (S45卒) 〈クリスマスリース〉



▲ 村谷 尚 (S54卒)
〈枯薄とスーパースター〉



▲ 及川 謙 (S61卒)
〈槍の穂先へ - インヴァインシング アルマダー〉



▲ 伊藤 純 (S50卒) 〈無題〉



▲ 高橋修三 (S51卒)
〈高田松原奇跡の一本松〉



▲ 八重樫誠司 (S53卒)
〈海中ダンシングシャーク〉



▲ 平野恵子 (渡部恵子 S53卒) 〈いのち〉



▲ 佐々木美枝子 (S43卒) 〈宙馬〉

(※2面から続く)

年卒)、金山文彦(S36年卒)、間瀬隆男(S36年卒)、吉田亨(S37年卒)の混成Aチームが優勝。2位は40年卒Aチーム(阿部銀次、江尻伸、久保光広)、3位は疾風会Bチーム(津島隆一、三沢一幸、横藤明)となりました。

個人戦優勝は在京白聖会新副会長となった戸田純(S48年卒/GRS95、HDCP20・4、NET74・6)、2位は畠順一郎(S41年卒/GRS106)、3位は間瀬隆男(S36年卒/GRS105)でした。

この結果、今年の在京ゴルフ大会の幹事は間瀬隆男さん(S36年卒)が担当することになりました。参加は年次対抗が基本ですが、個人参加も大歓迎です。個人の場合は、混成チームにエントリーしていただきます。9月発行の次号で日程等詳細をご案内いたしますので、ふるってご参加下さい。(文中敬称略)

ル・サロ・ブラン 篆刻美術館を訪ねて

白聖芸術鑑賞クラブ(ル・サロ・ブラン/S50

年卒・佐藤法雄代表)は、平成26年11月8日(土)、古河市篆刻美術館を訪問しました。この日本で唯一の篆刻だけの美術館は、三階建ての古い土蔵を改装して作ったもので、風情のある古河の名所の一つ

になっています。

参加者は6名で、古河到着後に企画展「江戸時代の印譜」を鑑賞。その後、書家で篆刻作家でもある佐藤法雄ル・サロ・ブラン代表の指導のもと、篆刻実技体験に挑戦、各自、オリジナル落款を制作しました。さらに民族資料館なども見学出来、和やかで有意義な一日を過ごすことが出来ました。

▶「2014白聖芸術祭」における五行歌展示



白聖歌会

WEB歌会にリニューアル

白聖歌会は、新代表に星邦彦(白聖應援団30「管理人」が就任、「白聖應援団30」内に「白聖歌会の部屋」を新設し、WEB歌会にリニューアルしました。(http://3824teacup.com/gogyouka/bbs/)。この「白聖歌会の部屋」は「在京白聖会」(詳細は本紙最終面

ア・ラ・カルト

みやこうせいさん(S31卒)

『藍を謳う』(未知谷)を刊行

本書の副題は「藍染めの里・羽生の自然、人、こころ」。江戸・明治・大正・昭和と受け継がれ、未来を模索する羽生の藍染め産業。著者は現場に四季を通じて何度も

細川久昭さん(S31卒)

写真集「小さな窓から」を刊行

撮影の瞬間にミラーが上がる一眼レフカメラは、シャッターを切った瞬間の被写体を見ることができない。中学から写真を撮り始めたという著者は、そこに生じるわずかなタイムラグが我慢できずに、シャッターを切った瞬間の被写体を光学的に直接見ることでできるレンジファインダーカメラにこだわ、一瞬の世界を凝視し続けてきた。副題の「レンジファインダーの中の人たち」には、著者のそういった思いが込められている。そしてこの写真集を手にとれば、その違いとは何であつたか気がつくであろう。

足を運び、ひたむきな人々の暮らし、そして利根川が育む純真無垢な自然を写真した。詳細は在京白聖会前会長・馬場信さん(S41卒)のブログ「AKIBAノート」2015年2月16日を参照のこと。(写真・同ブログより)



未知谷 刊・みやこうせい 写真・文
A4横判上製オールカラー
150頁 3,000円(税別)



昨年の在京白聖会ゴルフ大会参加者



佐藤法雄(容齋)さんの指導で篆刻実技体験



古河市篆刻美術館前にて



B4変型 100頁
2,000円(税別)
問合せ先・川口印刷工業
019-632-2211
千葉直見(S54卒)

《お知らせ集約ページ》<http://hakua.pmp-jp.com/>
 ▶在京白聖会公式ホームページのトップページ「在京白聖会サイト」をクリックして下さい



《画面の操作方法》

- ① 在京白聖会お知らせ集約サイトのトップURL。
- ② マウスオンまたは長押しタップで下位メニューが表示される。「お知らせ」自体のクリックまたはタップでは、他の画面の「TOP」のクリックや、タップと同様に部活動（白聖歌会を含む）と公式掲示板の最新情報の表示になる。
- ③ 公式掲示板の最新投稿タイトルが10件まで表示される。
- ④ 各年次掲示板の最新投稿を年次別に集約し表示する。（各年次5件）マウスオンまたは長押しタップで下位メニューが表示される。
- ⑤ 目的の年次を選択し最新投稿を表示する（当該年次10件）。
New! (n) : 1カ月以内の更新件数 (n)。

・メニュー行の末端の「?」をクリックすると、操作方法自体が表示されます。



《個別記事表示の操作方法》

- ① 当該ページ内の年次開始行へ一気にスキップする。
- ② 投稿は、リンク先の原掲示板へ飛んで実施できる。
- ③ 最初はタイトルだけが表示されており、ここをクリックすると記事が表示される。
 先頭の▼は、マウスカーソルを乗せると、記事をチラ見できる。
 先頭の▼にマウスカーソルを乗せ、はずすことで、畳むワザにも使える。
- ④ 表示された展開記事を、タイトルだけにしてたむ。
- ⑤ 当該ページの先頭にもどる。
- ⑥ このような記事タイトルをクリックすると、原記事のページが表示される。

《ご参考》※随時入替の可能性があります。

- ・これ読んで……難読漢字の読みを辞書で調べる。結果は、上のメニュー行配下に表示される。
- ・会報・バックナンバー……創刊号から最新号まで、インデックスページが表示され、各号を表示できる。
- ・盛岡経済新聞……当該サイトへ飛ぶ。
- ・岩手日報 Web News（更新日 更新時刻）……サイトから最新記事（更新時刻）をピックアップし、タイトルを表示している。タイトルをクリックすると、記事ページへ飛ぶ。

在京白聖会 サイト関連図

在京白聖会ホームページの活用を！

在京白聖会公式ホームページをご覧になっていますか。当ホームページは藤井新事務局長の下、大幅にリニューアルされ、内容が一段と充実しました。会員のさまざまな活動や、母校、白聖同窓会の最新情報などがタイムリーにアップされています。また、掲示板には皆様が情報を書き込みますので、便利にご活用下さい。

▼在京白聖会ホームページ
 ……公式サイト <http://www.hakua.org/tokyo/>

在京白聖会のサイト構成は、現在の次のようになっています。最新のサイトの構成と操作方法を左に書き込みました。皆さんでさらに充実させていきましょう。



藤井則夫事務局長（S47卒）

- ▼在京白聖会お知らせ集約ページ……関連サイトの更新情報集約表示
- ▼在京白聖会掲示板……公式掲示板
- ・部活動サイト……在京白聖会公認部活動情報表示
- ・各年次サイト……各卒業年次の活動情報
- ・各年次掲示板……各卒業年次の掲示板
- ▼在京白聖会 SNS……白聖全体の会員にクロージした情報交換（白聖友の会 <http://www.hakua.org/>）

※画面及び操作方法は左の囲みコーナーをご参照下さい。

編集後記

ラグビーの2019年W杯日本大会の開催地に金沢市が選ばれました。快哉を叫んだ同窓も多いことでしょう。東京にいるだけではわかりませんが、岩手に身を置いていると復興の足音が日々伝わってきます。私事で恐縮ですが、岩手に拠点を移して出版した第一号の『明月』が、リスタートも、ささやかながら、復興を目指す「岩手から日本初」を実現した出版となりました。これまで台湾の現代小説を日本語で読むことはできませんでしたが、日本で初めて本書が翻訳出版され、それが可能になりました。



四六判並製 408ページ
 桜出版 2,000円（税別）
 八重洲ブックセンター本店
 ネット書店ほかで発売中

ご承知のように、東日本大震災のあと、台湾は諸外国の中でいちばん多くの義捐金をおくって下さいました。岩手を訪れる外国人も、台湾からの観光客がトップです。啄木の縁で実現した本書の出版には、岩手の復興応援の意味が込められています。ますます交流が深まる台湾と岩手、そして日本。台湾のベストセラー小説の翻訳である『明月』が架け橋となつて、さらに強い信頼と友情で結ばれることを願っています。（Y）